



ClipChamp を使用した簡単な動画編集（教職員向け）

学術情報センター

ビデオカメラやスマートフォンで撮影した動画を Microsoft365 内の動画編集アプリケーション「ClipChamp」を用いて編集する方法です。

目次

ClipChamp の起動.....	2
画面構成	2
動画・画像ファイルの挿入（インポート）	3
動画のカット編集.....	5
テキストの挿入と調整.....	7
トランジション（切替効果）の挿入.....	9

ClipChamp の起動

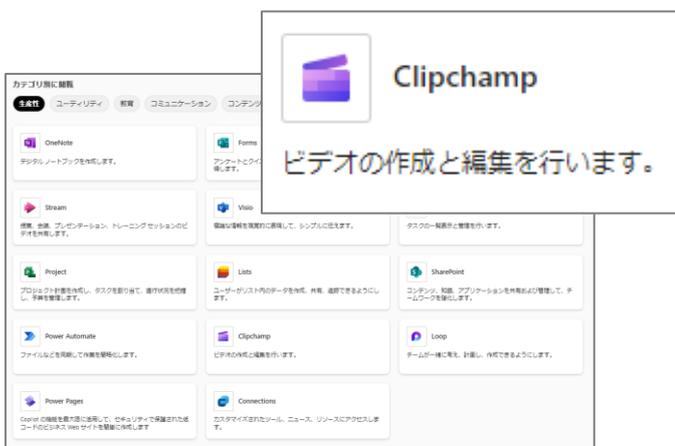
Microsoft365 にサインインします。

※「@nagoya-aoi.ac.jp」のアカウントでサインインしてください。「@stud.nagoya-aoi.ac.jp」はライセンスの都合により、ClipChamp を利用できません。



ホーム画面左端の[アプリ]アイコンをクリックします。

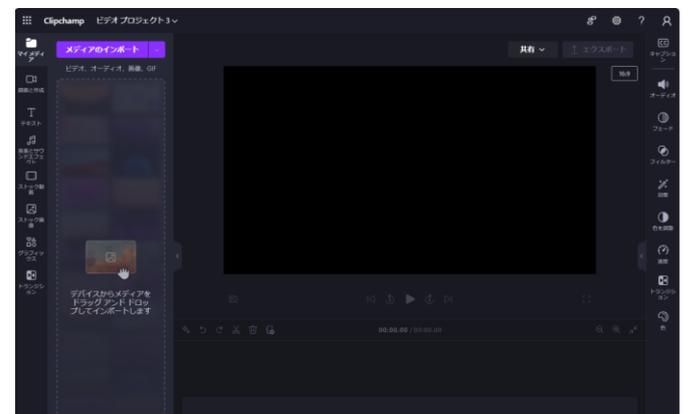
アプリ一覧から ClipChamp を選択します。



[新規作成]内にある[ビデオ プロジェクト]をクリックします。



ClipChamp が起動します。





① ツールバー

[マイメディア]から編集元の動画ファイルや、編集に用いる素材ファイルを ClipChamp に挿入（インポート）することができます。

オブジェクト（テキスト、音楽、切替効果など）の挿入もツールバーから行えます。

② プレビュー

編集中の動画がここに表示されます。再生ボタンをクリックすると、編集内容が反映された状態で動画が再生されます。

③ タイムライン

動画を編集する為の作業領域です。動画の内容が時間軸で表示されます。不要な箇所の切除（トリミング）や、挿入したオブジェクトの尺調整はこの領域で行えます。

シーカー（白い縦棒）と重なっている場面がプレビューに表示されます。シーカーを左右にドラッグすることで、再生箇所を変更できます。

④ 調整ツールバー

動画やオブジェクトの細かな調整を行う為の領域です。動画の再生速度の変更、テキストのサイズ変更等は調整ツールバーから行えます。

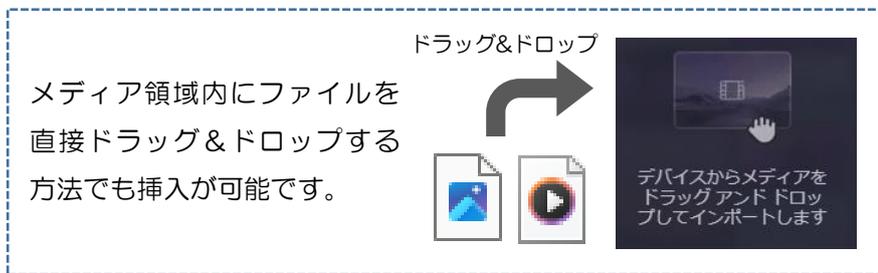
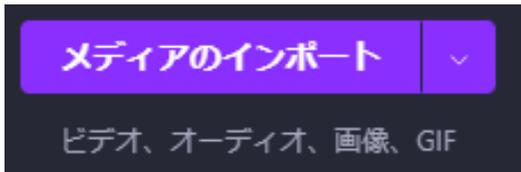
動画・画像ファイルの挿入（インポート）

はじめに、編集を行う動画および編集に使用する素材（画像・音楽ファイルなど）をメディア領域に挿入（インポート）します。

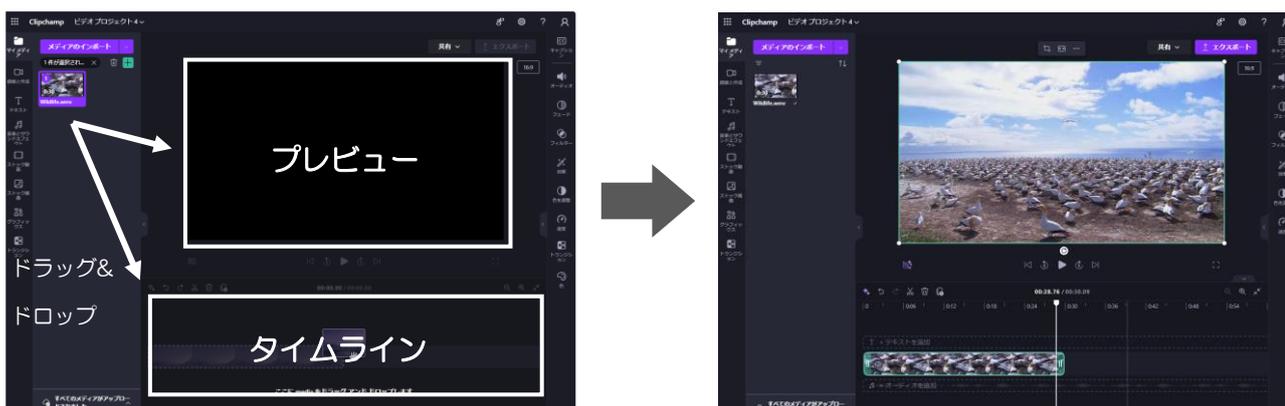
ツールバー内の[マイメディア]を選択します。



[メディアのインポート]から対象のファイルを選択、挿入します。



挿入した動画をプレビュー領域またはタイムライン領域にドラッグ&ドロップすることで編集が行える状態になります。



動画のカット編集

動画内の不要な部分は、スプリット機能を用いることでカットすることができます。



元はひと繋ぎの動画を



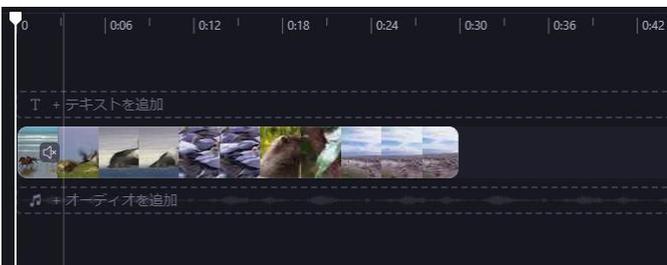
スプリット機能で区切り



不要な部分を消去

動画のスプリットおよびカットは、タイムライン領域で行います。

(タイムライン領域)



シーカー（白色の縦棒）をカットしたい部分の始まりの位置に合わせます。タイムラインに表示されているサムネイルとプレビューに表示される映像にはズレがありますので、プレビューを見ながら位置を微調整してください。



タイムラインを選択した状態で Ctrl キーを押しながらマウスホイールを前後に回すことで、時間軸の拡大縮小が可能です。時間軸を拡大するとシーカーの位置調整がしやすくなります。

タイムラインをクリックで選択



(Ctrl キーを押しながら) マウスホイールで拡大



時間軸の拡大縮小は、タイムライン領域右上のズームイン・ズームアウトボタンからでも行えます。



タイムライン上で右クリックし、[スプリット]を選択します。

スプリットはタイムライン領域左上のスプリットボタンからでも行えます。

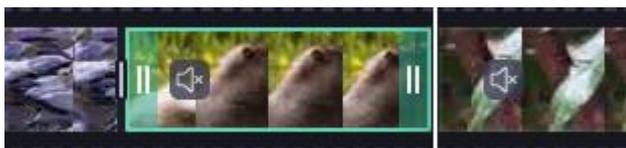


シーカーの位置で動画が
分割されます。



同じ手順でカットしたい部分の終わりの位置にシーカー
を合わせて、スプリットします。

これでカットしたい部分とその前後で動画が3分割
されました。

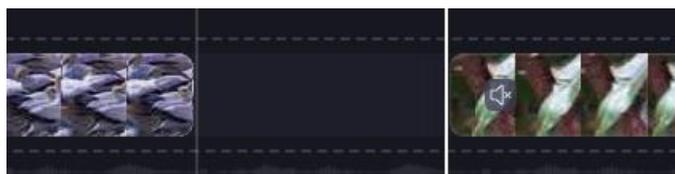


カット部分を選択した状態で右クリッ
クし、[削除]を選択します。

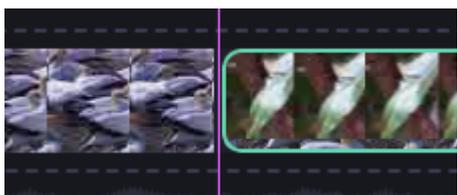
削除はタイムライン領域左上の削除
ボタンからでも行えます。



削除した部分がタイムライン上から無くなります。



ドラッグ操作で前後部分の隙間を埋めてトリミング完了
です。

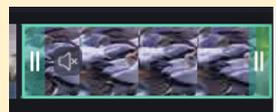


動画の冗長な部分を省略したいけれど、動画の構成
上、カットは出来ないという場合は、再生速度を速
くするという方法もあります。

■再生速度の変更方法

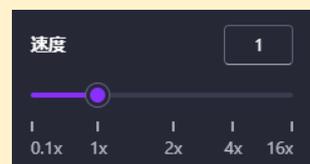
変更したい箇所の前後で動画をスプリットします。

スプリット部分をクリック
して選択状態にします。

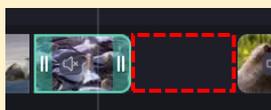


画面右端の調整ツールバー内にある
[速度]アイコンをクリックします。

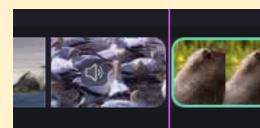
再生速度を 0.1 倍から
16 倍に変更できます。



※再生速度を速くすると、その分該当箇所の尺が
短くなります。



速度を 2 倍にすると
その部分の尺は半分に



マウスのドラッグ操作で
隙間を埋めます

テキストの挿入と調整

テキスト機能を用いることで、画面情報や補足内容を画面に表示することができます。

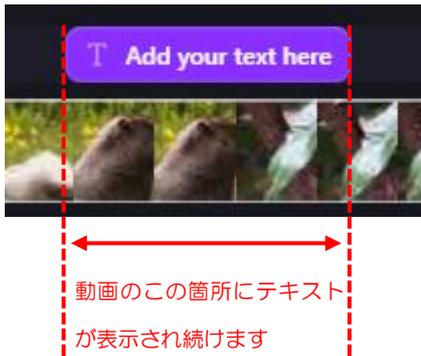


画面左端のツールバー内にある[テキスト]からテキストの挿入が行えます。



テキストスタイルを選択します。
任意のスタイルにマウスカーソルを合わせて、緑色の十ボタンをクリックします。

タイムライン上にテキストボックスが挿入されます。テキストボックスと重なる箇所にテキストが表示され続けます。



テキストボックスの配置、尺の長さを調整します。

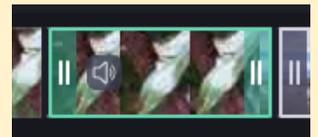


配置の変更：紫色の部分をクリック

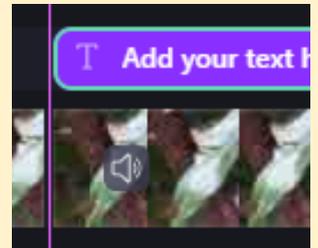
尺の変更：両端の青色の部分をクリック

あらかじめテキストを挿入したい箇所をスプリットしておくことで、簡単に配置や尺の調整が行えます。(スプリットについては『動画のカット編集』項を参照してください。)

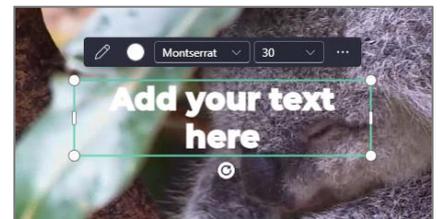
あらかじめスプリットしておく



ピンクの補助線が表示されるようになります



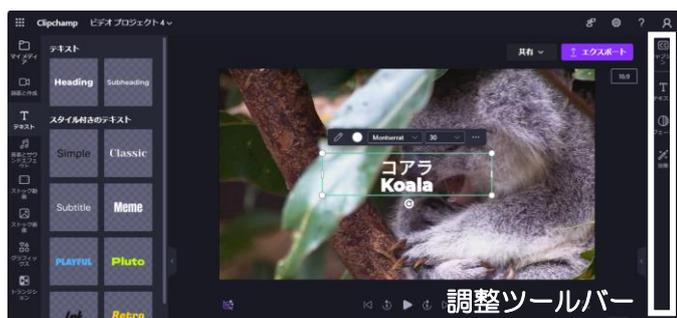
プレビューに表示されているテキストボックスに直接文字を入力することができます(動画の再生中は入力できません)。



テキストボックスは、ドラッグ&ドロップで画面上の好きな位置に配置することができます。



その他の細かな調整は、画面右端の調整ツールバーにて行えます。



文字の大きさ、色、配置などは調整ツールバー内の[テキスト]から調整が可能です。

※無料版 ClipChang では、フォントは英数字のみ変更することが可能です。ひらがな、カタカナ、漢字のフォントは変更できません。



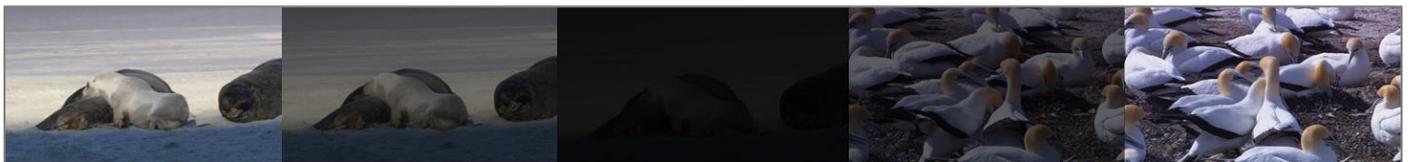
トランジション（切替効果）の挿入

場面の切り替わりにトランジションを挿入することによって、よりメリハリのある動画になります。

〈元の動画〉



〈トランジション“フェードスルーブラック”を追加〉



あらかじめ場面が切り替わるタイミングで動画をスプリットしておきます。（スプリットについては『動画のカット編集』項を参照してください。）



スプリットした箇所の境界にマウスカーソルを当てると緑色の+ボタンが表示されますので、クリックしてトランジションを追加します。



画面右端の調整ツールバーから切替効果の選択と継続時間の調整が行えます。

※無料版 ClipChamp では、使用可能な切替効果の種類が限られています。挿入したトランジションが動画に反映されていない場合は、別の効果に変更してお試しください。

